

The Apple IIc

ロールプレイング・ゲーム:ドラゴンスケープ

DRAGON'S CAVE

ROLE PLAYING GAME

Canon



The Apple IIc 版 ロールプレイングゲーム

DRAGON'S CAVE

ゲームマニュアル

序章——プロローグ

ケルンの右手には剣、左手には盾、そして上半身には皮の鎧をまとっている。彼はゆっくりと洞窟の中におりてゆく。まわりはただ静寂の世界で、足音だけがこだまする。洞窟は途中、ふたてに別れていた。彼は一方を選ぶと、さらに奥へ進んでいった。

すると突然、ランプの明りに照されてキラリと光るものがある。ケルンは剣をかまえると、慎重に近づいていった。洞窟の奥深くにかくされた、さんぜんと輝く金銀財宝。思わず駆け寄り、宝の山を前にして、そっと財宝のひとつを手にとってみる。それは、素晴らしい彫刻のほどこされた金の人魚の像であった。

と、その瞬間、横に立っていた青銅守護神像はケルンに剣を振りかざし、彼の胴体をまっぶたつにせんとする。すんでのところかわしたが、青銅の像は攻撃の手をゆるめない。

青銅の像はまるで命を吹き込まれたかのように動き、次々に攻撃を繰り出してくる。宝の山を手に入れようと思うなら、どうやらこの青銅の像と、一戦交えなければならぬらしい。ケルンは剣をかまえなおすと、青銅の像へ向かって振り降ろしたが……。

ようこそ、ステキなファンタジックロールプレイングゲームの世界へ!!

お買い上げいただいた Apple IIc が、あなたをスリルと冒険と興奮に満ちた世界へいざないます。そう、このドラゴンズケーブへ。

このマニュアルは、ゲームをするために絶対必要というわけではありません。しかし、このゲームが初めての方や、今までロールプレ

イングゲームを行なったことのない方には、このマニュアルを一読することをお薦めします。なぜなら、このマニュアルにはゲームを楽しむのに必要なことがらが、すべて網羅されているからです。この異世界チュレに入っていくと、あなたもりっぱな冒険者のひとりです。そしてあなたは剣と魔法を武器に、金と名声と、危険を求めて冒険に出かけてゆくのです。危険な魔法が渦巻いて、魑魅魍魎ちみもうりょうが跳梁跋扈ちようりょうぼこするこの世界へ。

あなただけが知っている、別の世界のもうひとりの自分。さあ！富と名声を勝ち得るために、出かけましょう。さまざまな困難が、あなたのゆくてに待ちうけているはずです。

第1章——ゲームを始める前に

このゲームは Apple IIc を購入したみなさまが、即座に Apple IIc で楽しんでいただけるように、と作成されたものです。

このゲームはファンタジックロールプレイングアドベンチャーです。ロールプレイングは、コンピュータを操作するあなたがゲームの世界の主人公となって、その役割を演じていくものです。舞台は、わたしたちが生活している日常社会とはかけ離れた異世界。あなたの眼前には、さまざまな冒険が繰り広げられることでしょう。もちろん、このファンタスティックな世界の主人公はあなたです。

第2章——ゲームの進め方

ここではゲームの進め方を説明します。わからないことは指示されている章を読んでください。

画面にタイトルの絵が描かれ、デモが自動的に始まります。デモからぬけるには何かのキーを押して下さい。

さて、ゲームを始めますとまず、タイトル文とメニューが表示されます。そこでキャラクター作りからスタートします。キャラクターの作り方はとても簡単。なにしろ名前と性別だけを入力すればよいのですから。(詳しくは第3章、“キャラクター”の項をご参照ください)

キャラクターが完成したら、さあ冒険の始まりです。あなたは異世界テュレの小さな町、ストラスにいます。すぐにでも冒険旅行に出かけたいところですが、やはり準備は必要ですね。町の中で、まず必要になると思われるものを入手してください。

すであなたは、いくつかの必需品を買えるだけのお金を手にしているはず。どのお店も現金制ですから、よく考えて選びましょう。準備をととのえたら、さあ出かけましょう。その前に、酒場へ行って一杯飲むくらいのゆとりがあってもいいですね。お酒が、きっとあなたの不安や興奮をすずめてくれるに違いありません。

このゲームでは説明文はカナで表示されますが、入力には英語で行なう必要があります。キャラクターになにか行動をおこさせたい時には、キーボードからコマンドをタイプしてみてください。あなたが叩いたコマンドをコンピュータが理解しなかった場合には、それぞれのコマンドについて、附録2のコマンド表を見てください。コマンド表に、いくつかのコマンドが用意されています。これはあなたがゲームを進めていく上での、手助けとなるはずです。

このゲームの目的は、いかに生きのびて宝を持ち帰り、どれだけのお金を得るかにかかっています。戦い終って再び町に戻ってきて、宿に入ることによってゲーム終了となります。Apple IIcはあなたが得た財宝を計算して、得点を表示してくれます。

より多くの得点になるように、勇敢にチャレンジしましょう。このゲームは、そのユニークな作り方ゆえに、何度でもチャレンジできる工夫がされています。

ただし、1度冒険を終えてしまったキャラクターは、もうこの冒険に参加することができません。

あなたはできるだけ注意深く冒険を進めることで、多くの得点を得ることができるでしょう。

第3章——キャラクター

この章ではキャラクターの作り方と能力について説明しています。

1 キャラクターを作る

まったく簡単な手続きで、キャラクターを作ることができます。メニューで“1”を選ぶと、キャラクター作成表が画面に表示されます。

まず、名前を決めてください。名前が決まったらそれをタイプして▼Return▼キーを押してください。

次に性別を決めます。男性か、女性か、その他です。その他というのは、まあ、中性(?)といった所です。3つのうちのどれにするか決まったら、キーを押してください。必要な手続きはこれで終了です。

キャラクターの能力と、持っているお金が、Apple IIcの乱数によって自動的に決定されます。

あなたがそのキャラクターを気に入ったのなら、そのままアドベンチャーを始めます。キャラクターの作りなおしをするかどうかを問いかけてきますので、作りなおさない時は▼Y▼キーを、また、気に入らないのであれば作りなおしです。▼N▼キーを押して、もう一度キャラクター作成の手順をふんでください。

2 キャラクターのもつ能力

キャラクターのもつ、さまざまな能力をいくつかの数値で表わし、それをゲーム中にコンピュータが使用します。

①ヒットポイント

キャラクターの耐久力、すなわちあなたの生命力を示します。この数値によって、どれくらい傷を受けると死んでしまうかが決まります。

②ストレンクス

体力を示します。戦闘の時、どれくらい敵にダメージを与えることができるかといった事や、どれくらいの荷物を運べるかに影響します。一般的に男性は比較的この数値が高く、反対に女性は低いといえます。もっとも例外はいくらでもあります。

③エイジリティ

敏捷度を示します。敏捷度は戦闘の時、どれくらい武器をうまく使いこなせるか、に影響します。

④インテリジェンス

知能度を示します。知能は魔法に影響します。知能が低いと、魔法がうまく使いこなせません。とはいえ、逆にいくら知能が高くても、必ずしも強力な魔法が作用するとは限らないのです。魔法は水ものです。うまく使いこなせれば強力な武器になりますが、しかし魔法にたよりすぎるのは危険といえます。

⑤カリスマ

他の者たちを魅きつける能力です。人に、“あいつはいい奴だ。”と思わせる能力のことです。

このカリスマ性が強いと、物品を買う時に有利です。一般的には女性の方が、カリスマの数値は高いようです。女性は体力で男性に劣るかわりにカリスマ度で勝っているので、性能のよい武器を安く手に入れることができます。

さて、あなたのキャラクターは冒険を始めるのに十分な素質を
持っていますか。

そうでなかったとしても、キャラクターにあまりムリな注文を
してはいけません。いったいどこの世界に、完全無欠な人間が
いるでしょう。体力満点、加えてトップレベルの敏捷度・知能度、
その上カリスマ性たっぷり、などという人が、そうめったに
いるはずはありません。

それに、平均的キャラクターであるからこそ、スリルあふれる
冒険が楽しめるのです。

第4章——武器・その他品物

ここでは、ごく普通に売っている品について簡単に説明しましょう。シナリオに登場するストラスの町では、冒険に必要なものならたいがい売っています。そして、あなたの所持金の範囲内でどれでも買うことができます。

なかには冒険にまったく必要のないものもあるかもしれません。でも、どれを買うかはあなたの自由です。

以下、売っているものをあげておきます。

1 武器

① 剣

● 長剣 (Long Sword)

幅広の、長めの剣です。両刃で肉が厚く、少し重いのが特徴です。

● 剣 (Sword)

ごく普通の剣です。両刃でバランスも良好。もっともポピュラーな剣です。

● 短めの剣 (Short Sword)

刃渡りが少し短かく40cm~50cm程です。やはり両刃でバランスもよく、軽いのが特徴です。

② 斧

● 手斧 (Hand Axe)

木を切ったりする時に使用するもので、両刃のごく普通のものです。

● 戦闘斧 (Battle Axe)

戦闘専用の斧で、片刃で刃渡りが長く、結構重いのが特徴です。

③短剣

●短剣(Dagger)

かなり小さめの剣です。あまり戦闘には向いておらず、もっぱら木の皮をはいたり、料理の時に使用されます。剣というよりナイフに近い代物です。一応、投げて使用するなら、武器としての効力もあるかも知れません。

④槍

●槍(Spear)

相手を突く武器で、かなり長く重いものなのでバランスはあまりよいとはいえません。投げて使用するのはむずかしいでしょう。

⑤投石器

●投石器(Sling)

加速度をつけて石を投げつける、パチンコのようなものです。

⑥棍棒・他

●棍棒(Club)

棍棒は一番単純な武器ですが、力まかせに振ればそれなりの効果があります。

●連接棍棒(Flail)

長い柄の先に、鎖でつながれたトゲのある鉄球がついています。使いこなすためには、若干の技術がいります。

●鎚矛(Tsuchihoko)

長い柄の先にトゲだらけの鉄球がつき、先端にとがった槍のようなものがついています。

2 鎧

- 皮製のもの(Leather Armor)

皮でつくられた鎧です。軽くてとても動きやすいのですが、素材が皮なのであまり防御効果がありません。

- 鎖でできたもの(Chain Armor)

小さな鎖でできたもので刃による攻撃には効果的です。

- 金属板でできたもの(Plate Armor)

全身を金属でおおってしまうこの鎧は、かなりの効果を発揮します。ただ、おいしいことには重すぎて、軽やかに動き回るのが難しいのです。

3 盾

- 大盾(Large Shield)

大きな盾で、重く使いこなすのが少し難しいのですが、敵の攻撃を防ぐ効果は大きいようです。

- 盾(Shield)

一般的な盾で、バランスもまずまずですが、力まかせの敵の攻撃を防ぐには少し足りないかもしれません。

- 小盾(Small Shield)

小さいのでその分、軽くてよいのですが、顔を守ることができる程度です。

4 その他の雑用品

- 背負袋(Back Pack)

荷物を入れて持ち運ぶためのものです。リュックサックのようなものと思ってください。

②腰袋

●小袋(Small Sack)

腰につける小さい袋で、小物入れといったところです。

●大袋(Large Sack)

腰のうしろにつける大きめの袋で、雑納袋です。ちょっとしたものなら、手当りしだいに詰め入んでもだいじょうぶ。

③皿(Dish)

食器です。他になにか説明があるでしょうか。

④つぼ(Pot)

ワインを入れておいたり、水を入れておくのに使います。

⑤桶(Bucket)

水を汲んだりするのに使います。

⑥防水袋(Water Proof Sack)

ワインなどを持ち運ぶのに使われます。

⑦ロープ(Rope)

一巻で50フィートほどのものです。多目的使用が可能。

⑧毛布(Blanket)

これも多目的に使用されることが多いのですが、普通は寝るのに使います。

⑨照明具(Lantern)

ランプです。いっしょに油とほくち箱も買わないと、使えません。

⑩まき(Torch)

6本ずつまとめて売っています。明りとして使用したり、暖をとるのに使えます。これはいっしょに油とほくち箱を買わないと、火がつけられません。

⑪油(Oil)

ひとビンずつ油を詰めて売っています。燃料用。

⑫ほくち箱(Tinder Box)

火をつけるための道具がはいっています。

- 火打石(Flint)
- 鋼(Steel)
- 乾燥木(Dry Wood)
- ひげそり(Shavings)
- 小枝(Twigs)

必要品は以上の中から選びます。

この他、ゲーム中に出てくるいろいろな物については、注意深く調べてみるのが大切です。

第5章——シナリオ

ここはテュレと呼ばれる異世界。10年程前から怪物が現われるようになり、人々の生活は荒れていた。▼あなた▼も数年前、怪物のために家族と故郷を失い、それ以来、あてもなくさまよう放浪の旅を続けている。そんなある夏の、むし暑い日のことだった。▼あなた▼はストラスの町で一泊しようと、宿を探しに町にはいった。

ここもやはり、荒れはてた町だった。人影も少なく、どことなく暗い雰囲気だ。ただよう。

ここで▼あなた▼は、こんなうわさを耳にする。この町の近くには魔物の住む洞窟がある。そこには、魔物たちが荒らしまわった土地から奪い去った財宝が、山のようにうず高く積まれているという。その財宝を手に入れたなら、一生遊んで暮らせるだろう。

▼あなた▼は、この話に興味をもつ。もしもうわさが本当ならば、つらい旅ともおさらばだ。裕福な生活ができるんだ。

▼あなた▼は宿のベッドにはいっても、まだ長いこと考えこんでいた。たとえ、うわさが話半分だとして、半分にみつもっても、スゴイものだ。そうだ、魔物の住むという洞窟に、挑戦してやろうじゃないか。▼あなた▼は決心した。その夜はなかなか寝つけなかった。そして白々と夜が明ける……。

ゲームはこの後、▼あなた▼が宿を出るところから始まります。わたしたちは▼あなた▼の無事生還を祈ります。

附録1——トラブルシューティング

まずプログラムのはいったフロッピーディスクを、ラベルを上にしてゆっくりとディスクドライブに差し込み、奥まで完全に入れて、奥の壁にあたったことを確認してください。

その後、ディスクドライブのフタを閉め、電源スイッチを“ON”にします。するとディスクドライブはガーッカタカタと音をたてて、プログラムを読みこみます。（この一連の手順をディスクのブートと呼んでいます。）さあ、これでゲームが始まります。

この時、テレビの下に Check Disk Drive というメッセージが出た場合は、一度電源を切って10秒ほど待ちます。ディスクドライブからディスクを取り出し、もう一度入れなおします。次にディスクドライブのフタを閉めて電源スイッチを“ON”にしてください。これで、ほとんどの場合、ディスクをブートできるはずですが、それでも運悪くプログラムが読み込まれずに、“Check Disk Drive”のメッセージがテレビに表示される時は、次に述べる手順で Disk を起動してください。

- i) ディスクドライブのフタをあける。（電源は“ON”のまま。）
- ii) 白ヌキのアップルマークのキーを押しながら Control キーを押し、両方のキーをはなさずに Reset キーを押します。
- iii) Reset キーをまずはなします。その後、他のキーをはなし、ドライブのフタをしめます。（この時、ディスクドライブはガーカタカタという音をたてているはずですが。）これで、プログラムは読み込まれました。

これらの手順をふんでも、まだテレビの画面に“Check Disk Drive”と表示されるようでしたら、フロッピーディスクに問題があるかもしれない。一度、Apple を講入した販売店にご相談ください。

なお、フロッピーディスクはうまくブートできたにもかかわらず、ゲームが始まらずに途中で止まってしまうとか、ディスクがガーカタカタという音を繰り返して止まってしまうなどという場合もまた一度販売店にご相談ください。

附録2——コマンド表

●E, W, S, N, NE, NW, SE, SW, U, D

それぞれ東、西、南、北、北東、北西、南東、南西、上、下の方向に進みます。

●OPEN [object]

何かを開けるのに使います。object の所で目的のものを指定してください。

●GO [object]

指定のものに向かって進みます。

●GET [object]

物をひろいます。

●DROP [object]

物をおとします。

●LOOK [object]

回りを見まわします。object を指定すると特定のものを調べます。

●READY [object]

武器、盾などをかまえます。

●INVENTORY

あなたの所定物をみせてくれます。

●ATTACK [object]

特定の者を攻撃します。

●FLEE

めくらめっぼう走って逃げます。方向の指定はできません。

●WEAR [Item]

主として鎧を着用するのに使います。

●EXAMINATION

自分の現在の状態を表示します。

この他にも使えるコマンドがあるかも知れません。自分でプレイしながら調べてみてください。

終章——エピローグ

ケルンは宿屋のベッドの中で、大金を前に座っていた。彼は財宝を勝ちとり、無事に帰ってきた。それは、質素に使う行けば何年かは暮らしていけるだけの金額だった。しかし、彼は別のことを考えていた。

謎の老人がいった“グラシアの運命を背負う者”とは、いったい誰を指しているのか。そしてケルンにいった、「輝ける錫杖の町へいけ」とは、なにを意味しているのだろうか。その町が、どこにあるかもわからぬというのに。ケルンには、なにもかもがわからなかった。

その日の夕暮れ、ケルンはその町を出た。行くあてもないが、これ以上この町にとどまるつもりもなかった。彼の心の奥底には、老人のことばがひっかかっている。彼の姿はまもなく、夕闇せまる林の小道にかき消えていった。

ドラゴンスケープ

昭和59年8月21日(初版発行)

非売品

製作発行 キヤノン販売株

注意：このゲームを無断で複製し、
販売することを禁じます。



Canon
キヤノン販売株式会社

PUB.CJ12-005

0884B3.5

PRINTED IN JAPAN

